

県議会レポート

【埼玉県議会 民主党・無所属の会】

<http://www.saitama-minsyu.jp>



2016 新春号

発行元：民主党・無所属の会

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048-833-1710 FAX 048-833-1722

E-mail minshuto@gikai.pref.saitama.jp



12月定例会終了後、議事堂内にて集合写真

埼玉県民の皆様、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は県議会改選の年であり、民主党・無所属の会は女性議員5名を含む13人の新体制でスタートいたしました。お蔭さまで、県民全体をバランスよく代表する議員団として、所属議員一同、それぞれの地域で誠実に活動して参りました。

埼玉県は日本一若い県と言われています。しかし、少子高齢化は例外なく進行しています。世代間横断的な相互扶助を基軸とする活力ある地域を創造し、元気な埼玉県にしていけるよう今年も頑張ります。

本年が皆様にとって、幸多き一年となりますように心からお祈り申し上げます。

民主党・無所属の会 代表 山川百合子

あけまして
おめでとう
ございます



決算特別委員会



● 9月定例会開催中に決算特別委員会が設置され、民主党無所属の会から木村勇夫県議と山本正乃県議が委員に選任されました。閉会中に審査が行われ、12月定例会で原案が認定されました。

歳入総額 2兆3485億8909万 157円
歳出総額 2兆3285億6629万1276円

埼玉県版地方創生

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」上程

～決着は2月定例会に持ち越し～

安 倍政権が掲げる地方創生に呼応して、全国の都道府県・市町村の各自治体における地方創生戦略を策定する運びになっています。このプランの中から、国に認められた事業に対して新型交付金が交付されることとなります。

埼玉県は12月定例会への上程を目指し、素案を10月に議会に提示。議会は特別委員会を設置して審査にあたり、閉会中審査で意見・提言をまとめてきました。本県にとっては、2025年問題を乗り越えるための「稼ぐ力」「医療・介護の安心」などが重要な戦略になってきます。

国への交付金申請なども含め、12月定例会での成立が望ましい同議案でありましたが、知事に対する最大会派の抵抗ゆえに継続審査となってしまうまいりました。本県の未来をしっかりと見据えた対応が必要です。

定例議会報告 埼玉県議会 9月定例議会

一般質問ダイジェスト



一般
質問

畠山稔 県議

南13区(上尾市)

1 知事4期目の今後の抱負について

Q 団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題の課題解決のためにどのように取り組んでいくのか。

A 高齢者の中でも80%が元気な高齢者です。これまでの社会概念を変革する意味で「シニア革命」と表現し、健康長寿埼玉プロジェクトの徹底と生涯現役社会の構築で定年を迎えても様々な形で社会に関われる埼玉を築きたい。

2 桶川市内における高校生の水難事故について

Q 今回の事故を受け改めて児童生徒の登下校における安全指導と安全対策について伺いますか。

A 県教育委員会といたしましては、今後開催される校長会議などにおいて、児童生徒の登下校の安全指導や防災訓練などを通じて危険を予測し回避する能力の向上に努めるよう徹底してまいります。

Q 一級河川江川の河川改修について▶「現況地盤活用案」よりも環境に配慮しながら河川を掘削する新たな整備計画が望ましいと思うがどうか。

A 上流域の治水安全度を最優先に下流部環境保全と両立できる事業計画について、江川流域づくり支援会議の提言も尊重しつつ改めて検討を行ってまいります。

3 地震発生予測に対する取り組みについて

Q 地震学会は、地震前兆現象の中で最も有望なものとして「地殻変動」があるとしています。その「地殻変動」を研究発表している民間機関があることがわかりました。直近1年間の地震発生検証結果によると80%以上の的中制度となっていることが確認されています。このような情報を県危機管理防災部の心構え情報として活用、研究してはどうか。

A 県といたしましては、地震発生予測の継続的な研究や調査について、その動向を注視してまいります。併せて県民の皆さんに「いつ地震が起こっても不思議ではないという心構えで、日頃から備えをしていただけるような取組」を進めてまいります。

4 地中熱ヒートポンプシステムの活用について

Q 地中熱ヒートポンプシステムは、今後のエネルギー政策の重要な手段の1つと考えている。県の「先端産業創造プロジェクト」では次世代住宅用として研究開発が進められている。現在の開発の進捗状況と今後のシステムPRについて伺います。

A 今後は実証試験を重ねることで問題点を解消し、全国へ展開できる埼玉発の地中熱ヒートポンプシステムの製品化を目指してまいります。又、PRについては、住宅関連技術、エネルギー関連技術の展示会への出店や業界団体の広報媒体の活用など、全国に発信できる効果的なPRを行っていきます。



一般
質問

江原くみ子 県議

北4区(深谷市・美里町・寄居町)

1 ゆるキャラ応援・活用について

Q 県の働きかけにより生まれた「ご当地キャラ」の盛り上がりがすごい。当初マスコットの役割だったが、今や地域の絆や経済的波及効果は顕著である。県内では、「ふっかちゃん」人気が高いが、その経済効果は、ゆるキャラグランプリ4位の時7022万円、3位の時が14億4千万円、昨年の2位になると31億円と推移。他県では、ゆるキャラを1つに絞って上位を狙う戦略を展開している。本件も戦略的な取り組みを進めることが必要と考える。

A 県では、観光や物産を幅広くPRするため「ゆる玉応援団」を結成した。その数、現在111キャラクター。この人気を活用することは有効な手段だと考える。HP公式観光サイト上「ちょこ旅埼玉」の中に特設コーナーを開設した。「ゆる玉応援団」全体の盛り上げを応援していく。

2 女性消防団員の増員を

Q 自分自身活動を始めて7年になるが、「女性消防団員」の知名度や具体的活動は知られていない現状がある。もちろん消火活動も重要だが、火災予防啓発やAEDを含む応急手当講習会など、求められる活動も多様化。特に女性は、地域コミュニティの結びつきが強く、様々な観点から、ソフトな印象を与える女性消防団員を増やしていくことは重要である。

A 県内女性消防団が誕生したのは1989年11月1日。四半世紀が経過し、本年、11月1日を「女性消防団員の日」とすることが宣言された。具体的な計画として、2017年度末までに女性消防団員を200名増員し709名にする考えである。また、県内18市町には女性消防団がないため、条例改正を含め働き掛けを強めていく。

3 恒常的な保育支援を

Q 統計的な数字では少子化が言われ、一人っ子も多く見受けられるが、私の友人や同世代では双子に恵まれ、お子さんが3人以上の家族も意外に多い印象もある。多子世帯に対する支援を積極的に進める必要があると考える。本年から、保育所等に入所する第3子以降の児童の保育料助成が始まった。これは国の財源であるが、このような事業は短期的でなく恒常的に行うべきものとする。また、対象児童の年齢を段階的に拡大する必要があると考える。

A 多子世帯の子育てや教育への経済的負担は大きな壁となっている。本制度は国の地方創生交付金を活用しているが、県としては国の財源に左右されることなく保育料軽減事業が継続できるよう財源確保に努めていく。無償化の対象範囲についても、市町村の意向も踏まえ検討していく。



定例議会報告 埼玉県議会 12月定例議会

一般質問ダイジェスト



一般
質問

田並 尚明 県議

北5区(熊谷市)

1 ラグビーワールドカップをきっかけに県営熊谷ラグビー場を日本を代表するラグビー場に育むについて

Q ラグビーワールドカップ後もトップリーグやスーパーラグビーの試合を多数誘致し、文化的存在価値があり、また収益性のあるラグビー場にしていきたいと考えます。

A **上田知事** ラグビーワールドカップ開催で得られる様々なノウハウを生かし、大会後もトップリーグや海外の強豪チームの試合が数多く開催されるような日本を代表するラグビー場を目指していきたいと考えております。



2 女子7人制ラグビー日本代表チームの応援について

Q 埼玉県内のチームの選手が来年のリオデジャネイロオリンピックに出場します。県でもあらゆる機会でご案内いただき、県民みんなで盛り上げていただきたい。

A **上田知事** 来年のリオデジャネイロオリンピックで「アルカス クィーン クマガヤ」を中心とした日本代表チームが大活躍できれば、2019年のラグビーワールドカップ開催にも弾みがつくものだと思います。今後は、熊谷市だけではなく、県全体で女子7人制ラグビー日本代表チームをしっかりと応援し、盛り上げるための工夫をしてまいります。

3 トップアスリートへの支援について

Q 県内から世界に羽ばたくトップアスリートを育て、後に続く子供たちが夢を持てる社会を作るために、JOCと埼玉県の共催で「トップアスリートの就職支援ナビゲーション」(アスナビ)の説明会を開催できないか。

A **県民生活部長** 本県から世界に羽ばたくトップアスリートをオール埼玉で育てていくためにもアスナビの取組は大変有意義であります。今後は、アスナビの説明会を県内でも開催できるようJOCに働き掛けてまいります。

4 情報発信に係る県警察と市町村との連携と地域住民への注意喚起について

Q 今年9月、熊谷市内において6名の尊い命が奪われる事件が発生した。二度と悲惨な事件が起きないように、今後、具体的にどのように地域住民に犯罪情報の提供と注意喚起を行い、住民の安全、安心を図っていくのか。

A **警察本部長** 新たな情報伝達手段として、ケーブルテレビやコミュニティラジオへの協力要請のほか、インターネットのソーシャルネットワーキングサービスやポータルサイトによる情報発信に向け、準備を進めているところであります。



一般
質問

水村 篤弘 県議

西1区(所沢市)

1 ケアラー(家族等介護者)の支援について

Q 「ケアラー」とは家族の介護をする人の事で、介護を必要とする人が増え続ける中で、介護に追われる人たちのサポートが、求められている。

高齢者の虐待にいたる4人に1人の要因は「介護疲れ・介護ストレス」である。介護者の中には、うつ状態になっている人もいます。ケアラーの方の心身の健康づくりと孤立解消が急務である。

①心身の健康状態を含めた実態調査を行ってはどうか?介護者が集い情報交換を行い、孤立を防ぐ「介護者の為のサロン」などの充実に向けて支援を行ってはどうか?

②ケアラーを応援する為の「ケアラー手帳」を広げてはどうか?

A **福祉部長** ①ケアラーの実態については、これまで統計的な把握をしていないので、調査を検討していく。「介護者の為のサロン」はケアラーに好評であり、より多くの市町村で実施されるように働き掛けていく。

②「ケアラー手帳」については、市町村におけるケアラー支援の参考となるよう、周知していく。



2 学校管理下での重大事故について

Q 大阪府内のある中学校で組み体操の「人間ピラミッド」の10段ピラミッドに挑戦をしていたところ、男子生徒が右腕を骨折する事故があった。日本スポーツ振興センターによれば、組み体操事故件数が平成26年度には8,592件もあったとの事だ。

学校管理下で重大事故が多発をしている。一部の教職員や学校に、合理的な安全に対する配慮を軽視する体質があるのではないか。

県内学校での組み体操の実施状況はどのようになっているのか?重大事故を防ぐ為に高さの規制を行ってはどうか?

A **教育長** 県内の平成27年度の「人間ピラミッド」の実施状況だが、小学校623校、中学校108校、高等学校6校などだ。「高さの規制」については、県教育委員会としては事故防止の徹底を図る為に、全ての公立学校に通知を出した。この通知では、十分な練習時間を確保する事、児童生徒の実態に即した種目及び内容を選定する事などを明記した。



埼玉県議会民主党・無所属の会政策

もしもの災害でも安心できる埼玉に。

比較的災害の少ない埼玉県ですが、ここ数年でも、思わぬ大雪、竜巻、ゲリラ豪雨と、これまで経験しない災害に見舞われました。

本年は阪神淡路大震災から21年、東日本大震災から5年。

日本列島の火山活動が活発化する中で、大規模地震に対する備えも怠ることはできません。

- 不断に被害想定を見直し、有効な訓練を重ねることによって防災力を強化します。
- 地域の絆で防災力を高める自主防災組織の運営強化を支援します。
- 被害が広域にわたる大規模災害において、県が周辺市町村や隣接都県や国の協力をスムーズに求められる態勢を整備します。
- 平日約140万人いる都内通勤者の命を守る帰宅困難者対策を進めます。



9月13日知事に【今般の台風18号の被害について、調査と対策を求める件】要望書提出後、知事と会談。

台風18号による県内の主な被害

床下浸水 **2188棟**

床上浸水 **557棟**

| | | | | | |
|-------|-----------------|-----|--------------|-------|-------|
| 越谷市 | 床下 481棟 床上 241棟 | 草加市 | 床下 36棟 床上 8棟 | 加須市 | 床下 3棟 |
| 幸手市 | 床下 390棟 床上 21棟 | 三郷市 | 床下 5棟 床上 6棟 | 越生町 | 床下 2棟 |
| 松伏町 | 床下 235棟 床上 83棟 | 吉川市 | 床下 14棟 床上 4棟 | ときがわ町 | 床下 2棟 |
| 春日部市 | 床下 801棟 床上 68棟 | 宮代町 | 床下 11棟 | 東松山市 | 床下 1棟 |
| さいたま市 | 床下 171棟 床上 49棟 | 杉戸町 | 床下 5棟 | 戸田市 | 床下 1棟 |
| 八潮市 | 床下 26棟 床上 13棟 | 川口市 | 床下 3棟 | 鳩山町 | 床下 1棟 |

民主党 無所属の会 埼玉県議団 会派所属議員

| | | | | | | |
|---|--|--|---|---|--|---|
|  浅野 義英 <small>あさの よしひで</small> 南9区(さいたま市浦和区) |  井上 将勝 <small>いのうえ まさかつ</small> 南6区(さいたま市見沼区) |  江原 くみ子 <small>えはら くみこ</small> 北4区(深谷市美里町寄居町) |  木村 勇夫 <small>きむら いさお</small> 南10区(さいたま市南区) |  菅 克己 <small>すが かつみ</small> 南2区(川口市) |  高木 まり <small>たかぎ まり</small> 南4区(さいたま市北区) | |
|  田並 尚明 <small>たなみ ひろさき</small> 北3区(熊谷市) |  富士山 稔 <small>はたけ やまのぶ</small> 南13区(上尾市) |  水村 篤弘 <small>みずむら あつひろ</small> 西1区(所沢市) |  山川 百合子 <small>やまかわ ゆりこ</small> 南1区(草加市) |  山根 ふみ子 <small>やまね ふみこ</small> 西7区(川越市) |  山本 正乃 <small>やまもと まさの</small> 東8区(越谷市) |  吉田 芳朝 <small>よした よしのり</small> 南16区(新座市) |

生命と生活を守る!!

誠実・実行力

初心を忘れず改革を進める確かな力夢を実現できる社会へ

しっかりと、じっくりそして誠実に...

ふみこむ勇氣! その先へ。

県政をもっと身近に

全力投球